

心身ともに健康な子どもの育成を目指して

～生きる力を育むための歯と口の健康づくりを通して～

1. はじめに

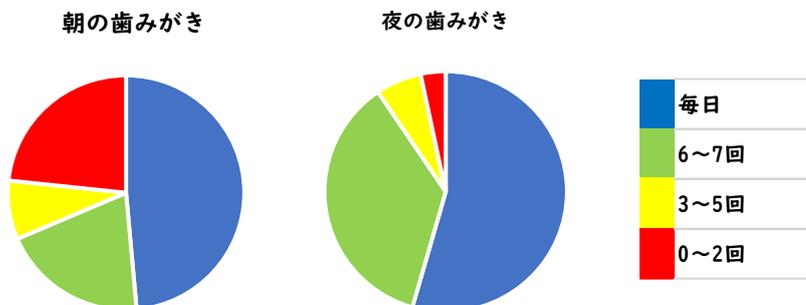
大和郡山市は奈良県の北西部にある人口約8.5万人の都市である。古い歴史が感じられる町並みを残すと同時に、伝統野菜なども多く生産され、子どもたちにとっても身近なものになっている。そのため、給食に多くの伝統野菜を取り入れ、子どもたちが様々な味に触れると同時に、それらをしっかり噛んで食べるよう献立にも多くの工夫がなされてきた。

筒井れんくんは
筒井地区の名産だよ！



2. 取組

○取組に向けて：「はみがきカレンダー（R3年6月実施）」の結果



「毎日みがく」が約半数



残りの半数も毎日
磨くようになるには…。

歯みがきの大切さを
確認できる取組を！

① 読み聞かせ

実態に合った歯と口に関する本や紙芝居を選び、司書教諭や養護教諭が児童に紹介した。児童は、歯と口について考える時間を持つことで、歯みがきやよく噛むことの大切さを意識することができた。



② 全国小学生歯みがき大会

日本学校歯科医会と企業が共催している歯みがき大会に参加した。この大会を通して、歯垢が残らないようにするには歯の場所によって磨き方を変える必要があることや、フロスの使用も効果的であることを知ることができた。



③ はみがきカレンダーの実施

学期に一回、はみがきカレンダーを実施した。色塗りをするすることで、児童は、朝と晩に歯を磨くということを意識でき、「いつもよりしっかり歯を磨けた。」「朝、歯磨きをするようになった。」といった感想も見られた。2学期のはみがきカードでは、「前は、朝の歯磨きを忘れることがあったけれど、今回は忘れないようにしようと気をつけた。」など、1学期の結果を踏まえて取り組んだ様子も見られ、意識の向上が感じられた。



歯みがきの大切さを再確認！！